

DWS ユーロ・ハイ・イールド債券ファンド (年1回決算型)

Cコース (円ヘッジあり) / Dコース (円ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 債券 交付運用報告書

第2期 (決算日: 2019年5月24日)
作成対象期間 (2018年5月25日~2019年5月24日)

第2期末 (2019年5月24日)	
Cコース (円ヘッジあり)	
基準価額	9,914円
純資産総額	149百万円
第2期 (2018年5月25日~2019年5月24日)	
騰落率	0.4%
分配金合計	0円

第2期末 (2019年5月24日)	
Dコース (円ヘッジなし)	
基準価額	9,125円
純資産総額	203百万円
第2期 (2018年5月25日~2019年5月24日)	
騰落率	△4.9%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「DWS ユーロ・ハイ・イールド債券ファンド(年1回決算型)」は、2019年5月24日に第2期の決算を行いました。当ファンドは、主としてユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<お問い合わせ先>ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

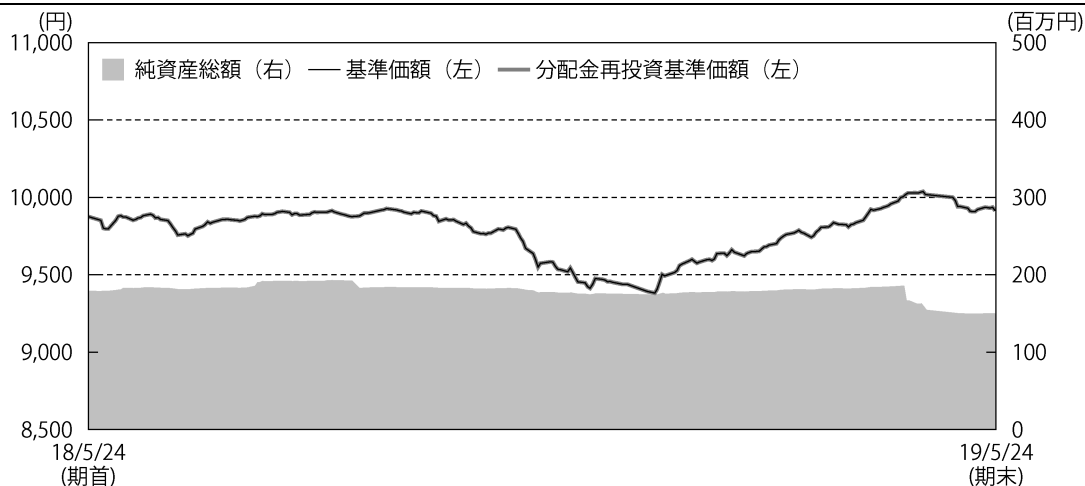
<お問い合わせ先>
電話番号: 03-5156-5108
受付時間: 営業日の午前9時~午後5時
<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【Cコース（円ヘッジあり）】
■基準価額等の推移について

（2018年5月25日～2019年5月24日）



第2期首：9,875円
 第2期末：9,914円（既払分配金0円）
 騰落率：0.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。相対的に高い利回りに対する需要を背景とした欧州ハイ・イールド社債市場への資金流入を受けて、基準価額は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2018年5月25日～2019年5月24日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	114円	1.166%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,764円です。
（投 信 会 社）	（ 47）	（0.486）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 63）	（0.648）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 3）	（0.032）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	10 （ 10）	0.100 （0.100）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	124	1.266	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

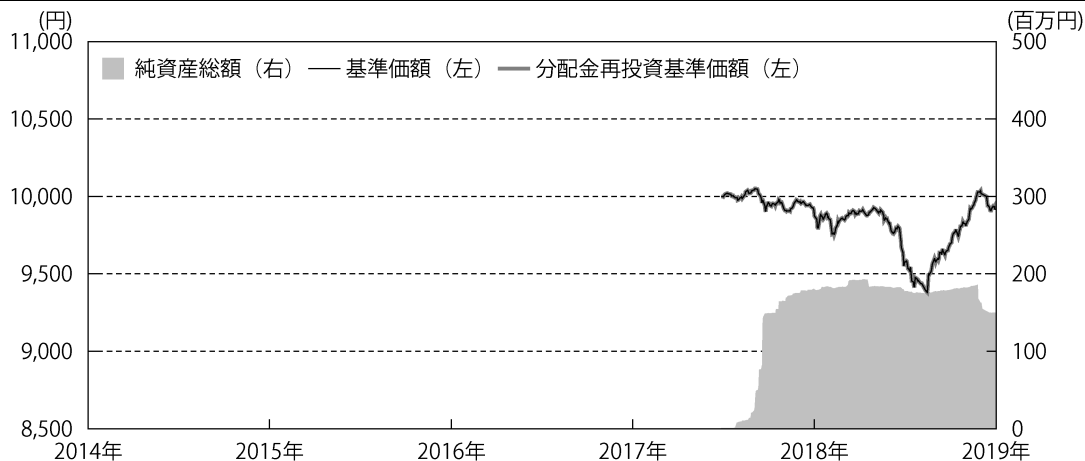
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2014年5月23日～2019年5月24日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		—	—	—	2017年11月17日 (設定日)	2018年5月24日	2019年5月24日
基準価額	(円)	—	—	—	10,000	9,875	9,914
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	—	—	△1.3	0.4
純資産総額	(百万円)	—	—	—	1	179	149

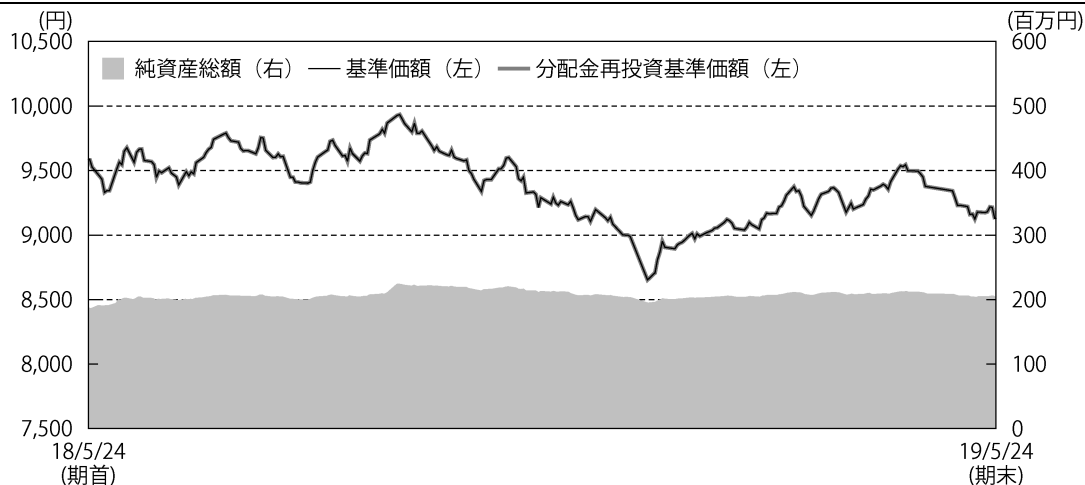
●当ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）及びドイチェ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【Dコース（円ヘッジなし）】

■基準価額等の推移について

（2018年5月25日～2019年5月24日）



第2期首：9,592円

第2期末：9,125円（既払分配金0円）

騰落率：△4.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。相対的に高い利回りに対する需要を背景とした欧州ハイ・イールド社債市場への資金流入は、基準価額の上昇要因となりましたが、為替市場においてユーロが対円で下落したことなどが、基準価額の下落に影響しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2018年5月25日～2019年5月24日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	109円	1.166%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,378円です。
（投 信 会 社）	（ 46）	（0.486）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 61）	（0.648）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 3）	（0.032）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監査費用・印刷費用等）	9 （ 9）	0.100 （0.100）	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	118	1.266	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2014年5月23日～2019年5月24日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、設定以来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		—	—	—	2017年11月17日 (設定日)	2018年5月24日	2019年5月24日
基準価額	(円)	—	—	—	10,000	9,592	9,125
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	—	—	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	—	—	△4.1	△4.9
純資産総額	(百万円)	—	—	—	1	187	203

●当ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）及びドイツ・マネー・マザー・ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

（2018年5月25日～2019年5月24日）

当期では、欧州債券市場の主要な指標となるドイツの10年国債利回り（長期金利*）は低下しました（価格は上昇）。米中貿易摩擦の激化や世界景気の先行き不透明感に加えて、主要中央銀行のハト派化姿勢が材料となり、長期金利は低下しました。欧州ハイ・イールド社債市場では、相対的に高い利回りに対する強い需要を背景とした資金流入を受けて、上昇基調が継続したことから、トータルリターンはプラスとなりました。為替市場では、ユーロ圏域内の景気減速懸念に加えて、通商政策動向や欧州の政治リスクに対する不透明感の高まり等を受けて、ユーロは対円で下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

（2018年5月25日～2019年5月24日）

【Cコース（円ヘッジあり）】／【Dコース（円ヘッジなし）】

各ファンドでは当初の運用方針通り、主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

（DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド）

国別の運用状況につきましては、経済回復の相対的に堅調な国の企業を中心に組み入れました。組入れ上位としては、アメリカ、フランス、ドイツなどを高めとしています。また、セクター別ではグローバルに展開している企業が多く見られる素材セクターのほか、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスやメディアなどのセクターを高め配分としました。また、企業ファンダメンタルズが良好な企業やバリュエーション面から投資妙味が高いと判断した銘柄を選択的に購入しました。相場が弱含んだ局面では割安感の出た既発債を購入した一方、相場の上昇局面においては一部で利益を確定するなどの売却を行いました。新発債への投資も積極的に実施しました。

（DWS ユーロ・リザーブ・ファンド）

主に変動利付債券を組入れて運用を行いました。

（ドイチェ・マネー・マザーファンド）

主に円建の公社債及び短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いました。具体的には、短期金融資産を中心に運用を行いました。

■ベンチマークとの差異について

（2018年5月25日～2019年5月24日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■分配金について

【Cコース（円ヘッジあり）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2018年5月25日～2019年5月24日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,538

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【Dコース（円ヘッジなし）】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

	当 期
	2018年5月25日～2019年5月24日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,492

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【Cコース（円ヘッジあり）】／【Dコース（円ヘッジなし）】

各ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

（DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド）

米中の通商政策動向やユーロ圏域内の景気減速が懸念される中、欧州中央銀行（ECB）による低金利環境の継続姿勢は続くものと想定しています。また、英国の欧州連合（EU）離脱に関連した動向や、ユーロ圏域内の政治リスク等は、今後も市場の変動要因になるものと思われ、緩やかな景気回復に伴う金利上昇の抑制要因になるものと考えています。欧州ハイ・イールド社債市場については、相対的な利回りの高さに対する投資家需要を背景に、市場への資金流入が見込まれることなどは、プラス材料と考えています。ECBによる緩和姿勢の継続は市場の下支え要因と考えており、割安度が増した局面では投資機会として捉えていきます。今後の運用方針としましては、業種間の投資妙味や景気への感応度を考慮し、化学や運輸などへのセクター配分を選好する一方、小売セクターへの配分は幾分抑える予定です。格付け別では、相対的な割安感が引き続き見られるB格以下の銘柄を積極的に組み入れる方針です。

（ドイチェ・マネー・マザーファンド）

主に円建の公社債及び短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。信用力及び流動性の高いポートフォリオ運用を行うため、短期金融市場や国債市場の動向を踏まえ組み入れを行う方針です。

お知らせ

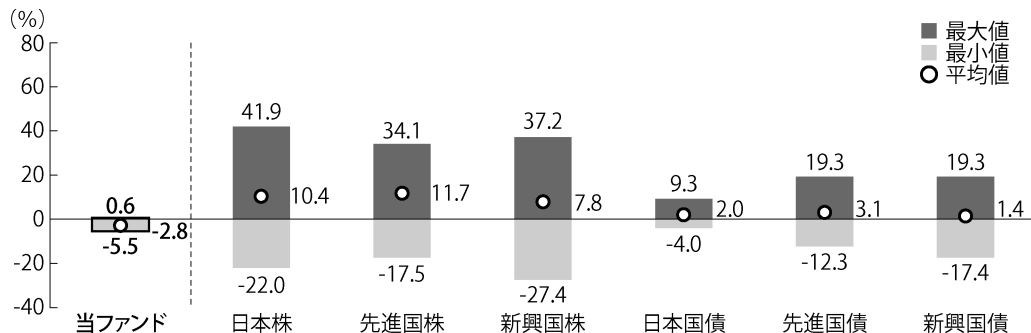
- ・2018年8月24日に別に定める投資信託証券の「ルクセンブルグ籍外国投資信託 DWS ユーロ・リザーブ・ファンド」を「親投資信託 ドイチェ・マネー・マザーファンド」にするため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- ・2018年9月1日に投資運用会社の社名が、「ドイチェ・アセット・マネジメント・インベストメント GmbH」から、「DWS インベストメント GmbH」に変更されました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	原則として、ルクセンブルグ籍外国投資信託であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド及びドイツ・マネー・マザーファンド受益証券に投資を行うことを基本とします。
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド	ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とします。
	ドイツ・マネー・マザーファンド	円建の公社債及び短期有価証券等を主要投資対象とします。
運用方法	主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。Cコース（円ヘッジあり）については、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うルクセンブルグ籍外国投資信託DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。Dコース（円ヘッジなし）については、原則として実質的にユーロ建資産を保有するルクセンブルグ籍外国投資信託DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドに投資を行います。また、各コースは、ドイツ・マネー・マザーファンド受益証券にも投資を行います。	
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年5月24日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2014年5月末～2019年4月末）

【Cコース（円ヘッジあり）】



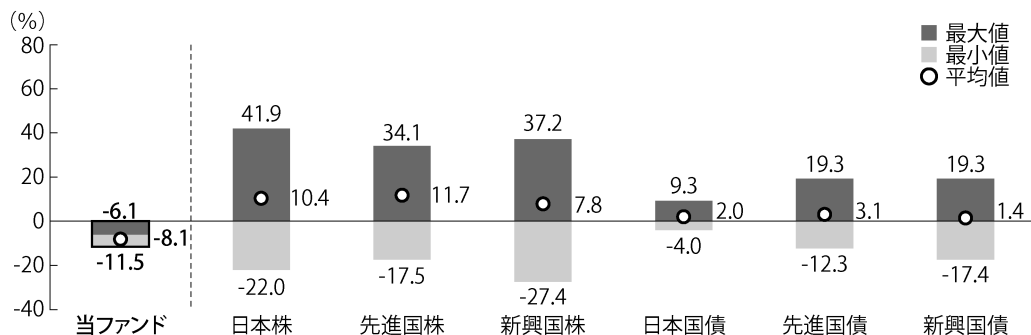
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%）)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-2.8	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4
最大値	0.6	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-5.5	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【Dコース（円ヘッジなし）】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率（%）)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-8.1	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4
最大値	-6.1	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-11.5	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2014年5月～2019年4月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、各ファンドの設定日は2017年11月17日であるため、年間騰落率は2018年11月以降のものとなります。したがって、各ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、T O P I Xの算出もしくは公表の方法の変更、T O P I Xの算出もしくは公表の停止またはT O P I Xの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P I は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

【Cコース（円ヘッジあり）】

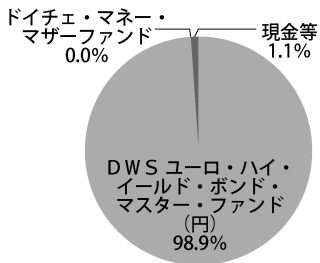
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

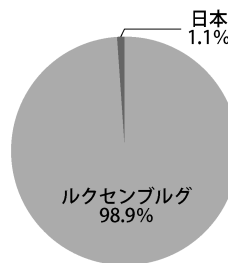
項 目	当 期 末
	2019年5月24日
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）	98.9%
ドイチェ・マネー・マザーファンド	0.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

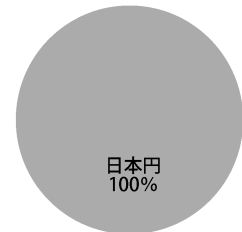
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	当 期 末
	2019年5月24日
純 資 産 総 額	149,835,799円
受 益 権 総 口 数	151,133,942口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	9,914円

当期中における追加設定元本額は16,828,440円、同解約元本額は47,209,597円です。

【Dコース（円ヘッジなし）】

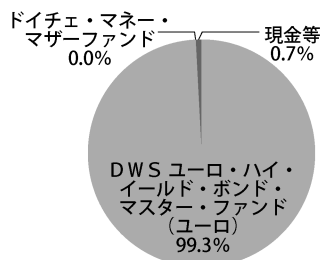
■当ファンドの組入資産の内容

◆組入上位ファンド

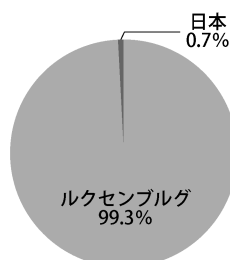
項 目	当 期 末
	2019年5月24日
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）	99.3%
ドイチェ・マネー・マザーファンド	0.0%

（注）組入比率は純資産総額に対する割合です。

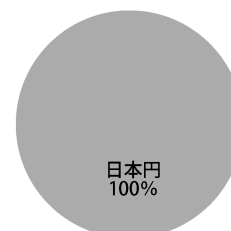
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

項 目	当 期 末
	2019年5月24日
純 資 産 総 額	203,823,379円
受 益 権 総 口 数	223,371,522口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	9,125円

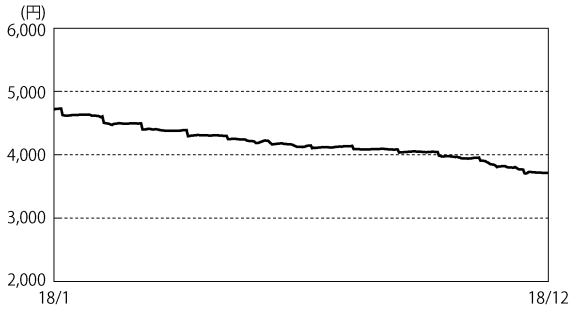
当期中における追加設定元本額は34,906,471円、同解約元本額は7,278,291円です。

■組入上位ファンドの概要

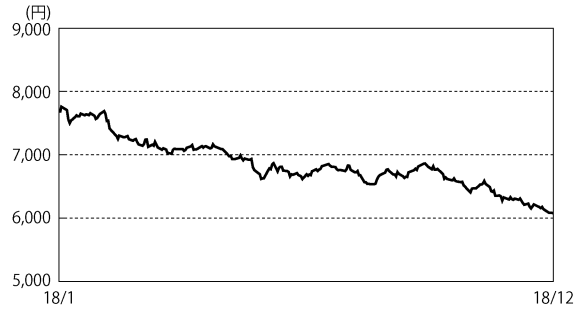
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (2018年1月1日～2018年12月31日)

◆基準価額の推移

【円クラス】



【ユーロクラス】



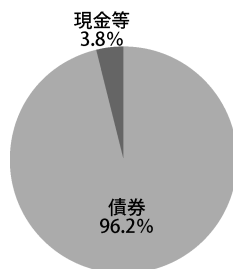
◆上位10銘柄

	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	Telefonica Europe BV 2014/perpetual	スペイン	ユーロ	1.5%
2	Prague CE Sarl -Reg- (MTN) 2017/2022	ルクセンブルグ	ユーロ	1.4%
3	HT1 Funding GmbH 2006/perpetual	ドイツ	ユーロ	1.3%
4	Telefonica Europe BV 2013/perpetual	スペイン	ユーロ	1.3%
5	Ziggo Bond Co, BV -Reg- (MTN) 2014/2024	オランダ	ユーロ	1.1%
6	Deutsche Postbank Funding Trust II 2004/ perpetual	ドイツ	ユーロ	1.0%
7	ReutersAltice France SA -Reg- (MTN) 2014/2024	フランス	ユーロ	1.0%
8	NN Group NV 2014/perpetual	オランダ	ユーロ	0.9%
9	Origin Energy Finance Ltd 2014/2074	オーストラリア	ユーロ	0.9%
10	Altice Luxembourg SA -Reg- (MTN) 2014/2022	ルクセンブルグ	ユーロ	0.9%
	組入銘柄数	278銘柄		

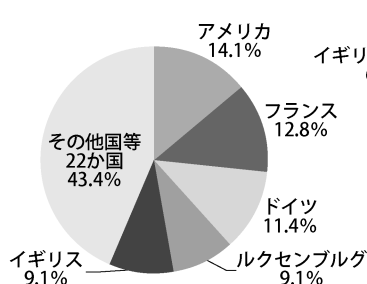
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

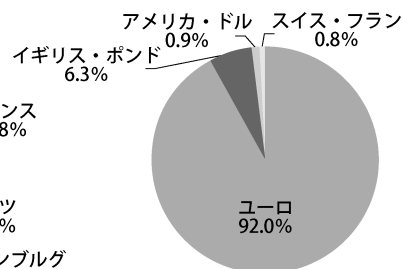
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

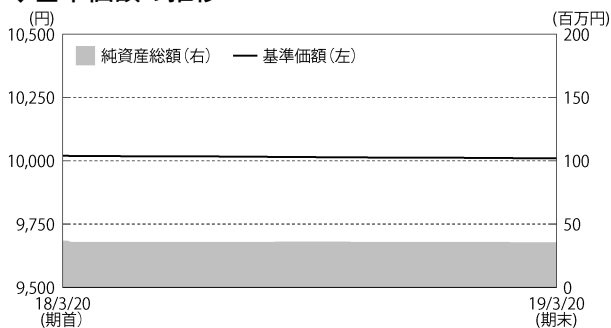
◆費用の明細

項目	
支払利息	△162,639.54ユーロ
委託者報酬	△9,461,229.96
保管費用	△40,538.50
監査費用、弁護士費用 及び印刷費用	△30,486.85
申込税	△100,025.83
その他費用	△347,475.84
合計	△10,142,396.52

(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、年間総額の表示とさせていただきます。

ドイチェ・マネー・マザーファンド (2018年3月21日～2019年3月20日)

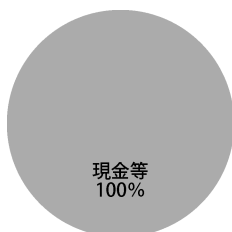
◆基準価額の推移



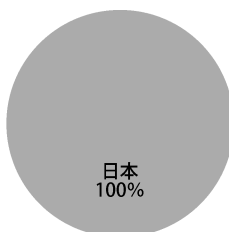
◆上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	比率
1	—	—	—	—
組入銘柄数			—	

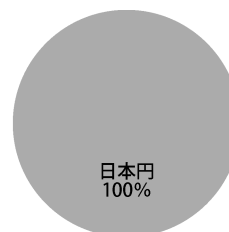
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。